２学期始業式の言葉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　R4.9.1

おはようございます。登校してきた皆さんの元気な挨拶の声が学校に響きわたり、元気に登校できたことを大変うれしく思います。

４２日間の長い夏休みでしたが、いろいろな所に出かけたり、いろいろなことを体験したりと、それぞれ心に残る楽しい思い出がたくさんできたのではないかと思います。

さて、今日から二学期が始まります。二学期は暑い季節からとても過ごしやすい秋、そして少し寒くなる年末までの長い期間になりますが、いろいろ勉強に集中できる学期です。

１学期は、「よい子の約束」の中で、「よ：良いことをどんどんする」として、色々なことに粘り強く挑戦して、やればできる自分を発見することができたと思います。

２学期は、「い：命を大切にする」で、「違いを認め合い、自分も友達も大切にして欲しいと思います。

そこで、「違いを認め合う」とはどういうことなのかについてお話をしたいと思います。

まず､みんなが同じこととしては、みんな命があり、その命は病気や事故などで失ってしまったら、二度と元には戻らないただ１つだけのかけがえのないものであること。そして、優しくしてもらったり褒めてもらうとうれしいし、反対に嫌なことを言われたり､嫌なことをされたりすると悲しいという感情があるということも同じです。

では違うところはどこでしょう。

顔や体格、育った家庭環境、性格、好きなことや苦手なこと。

例えば､好きなお勉強や苦手なお勉強がありますね。好きな食べ物や遊び、お気に入りのキャラクターやゲーム、スポーツや趣味等もひとそれぞれにちがうとおもいまうｓ、テレビ番組や芸能人など、人によって違う所はたくさんあります。

みんなが同じようにもっている命や感情を大切にしすることはもちろん、反対

に人それぞれに違うところを大切にして、否定せずお互い認め合って欲しと思います。色んな人間がいて、色々な考え方があるからこそ、新しい発見ができ、たくさんのことを学ぶことができます。

　自分の考えも大切にしながら、人の考えも大切にできる素敵な人になって欲しいと思います。どんな人との出会いも自分にとって大切な出会いです。素敵な人に出会ったときは、自分もそうなりたいと努力すればいいし、嫌な人に出会ったときは、自分はそうなりたくないと自分の言動を気をつければいいのです。

２学期も大きく成長できる姿を期待しています。頑張りましょう。

校長　永草　いづみ